

■作品のタイトル 天女(天を舞う鳥や蝶)に愛される庭

■作品のコンセプト

（作品に込めた意図・意匠・目的・思い等を250字程度で明記してください。）

- ・鳥取の自生種を活かすため、湖山池NGの植物を主体として使用することを考えた。
- ・この場所は、遮蔽物がないために西日と風が強い場所である。また、雪の多い場所なので、樹木は高木にならず、枝がまっすぐに伸びるもの（ザイフリボク）を選んだ。
- ・維持管理もあまりなされることがないだろうから、できるだけ環境に強く、あまり水を欲しがらないグラスや、自分である程度水を保有することのできる植物（アガパンサスや球根など）を選んだ。
- ・予算も少ないことから、種でも自然に増えてくれる宿根草（ニゲラ）も使用。花後の種の形も見ごたえがある。
- ・テーマにある「天女舞う・・・」については、グラスなどの葉が風に揺れる姿を波として、秋のススキやパンパスの穂を羽衣と見立てた。
- ・自然から愛される場所として、鳥や蝶が多くこの場所に来るように、実をつける樹木（ザイフリボク）や、花を多くつける宿根草を選んだ。
- ・ルドベキア（ゴールドスターム、マキシマ）の花後の種や、冬に赤く染まる幹が美しいコルヌス、秋以降丸く刈り込んだグラスなど、冬の庭も見せる工夫をしている。
- ・温泉街なのでトロピカルで鮮やかな黄色がメインになるように配色。この色の補色として青花を配置。

■作品の説明

（イラスト、図、写真を使用するなど、自由に記載してください。）



【概観】上記は、パンパスグラスの穂が上がる時期（秋ごろ）の植物の大きさを表す。

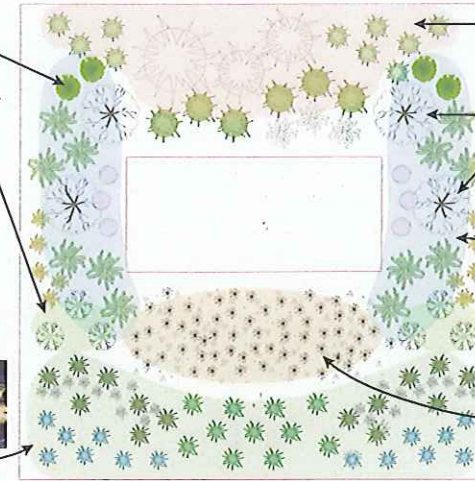
ツワブキ

線形の植物が多いので、丸い葉で変化をつけた。

コルヌスアルパエレガンティシマは、夏は涼しげな斑入り葉で、冬は赤い幹が活躍してくれる。



グラスゾーン  
春は新緑、秋は穂、冬は刈り込みで風景がつかれる。



【パンパス・ススキゾーン】  
湖山池の植物を配置し、風景を共有する。

ザイフリボク  
鳥や蝶を呼ぶために配置  
春の花後に赤い実をつける。

【木陰ゾーン】  
低木を配し、日陰の場所を作る。  
直射日光で葉焼けするような植物を日陰に配置する

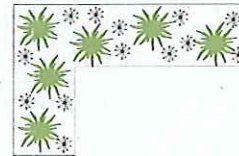
【碑文前小球根ゾーン】  
碑文前は背丈の上がない植物を配置。  
黄・青の花色を混ぜることにより、双方が引き立つ。  
コレオプシスがグランドカバーとしてがんばってくれることに期待する。

【メイン花壇】



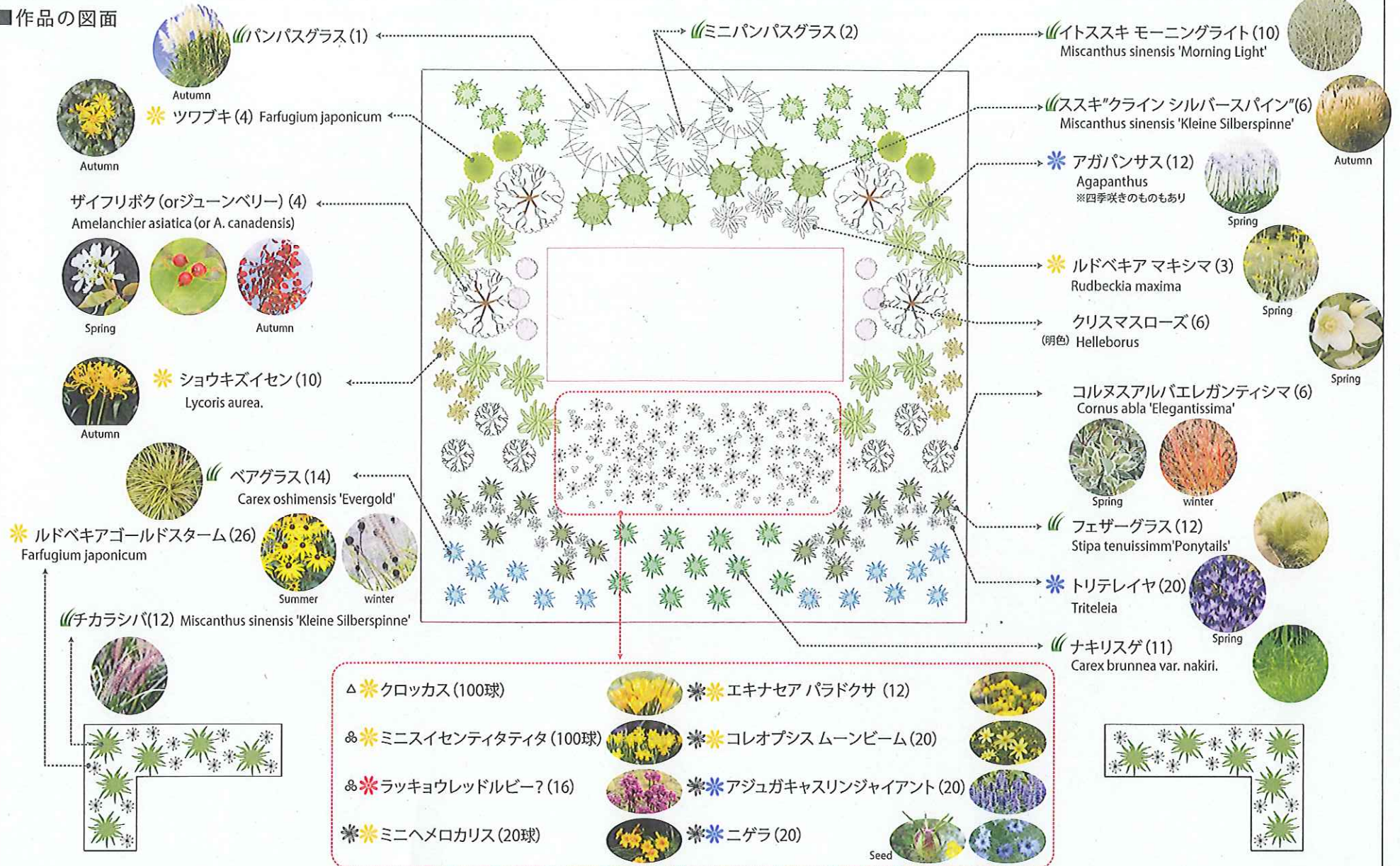
【ミニ花壇 左右】

ルドベキアゴールドスタームとチカラシバを植栽。  
ルドベキアは、数年でグランドカバーを形成し、地面を乾燥から防いでくれる。花も旺盛に咲く。  
秋の種を付けた姿とチカラシバの穂の組み合わせが面白いので見て欲しい。



■作品のタイトル 天女(天を舞う鳥や蝶)に愛される庭

■作品の図面



●事務局使用覧 (応募者は記入しないでください)